

据え付け工事をされる方へ



●この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数等の異なる海外では使用できません。




安全上のご注意

(RW-227PD形を据え付ける場合)

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。









■ここに示した注記事項は、表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
 注意	「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。




絵表示の例	
	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

■据え付け上の注意事項

 **警告**

 厳守	据え付けおよび移設は、お買上げの販売店または、水道事業者または指定給水装置工事業者に依頼してください。 ご自分で工事され不備がありますと、水漏れや感電・火災の原因になります。
 厳守	不安定な場所に設置しないでください。 転倒・落下によるけがなどの原因になることがあります。
 水ぬれ禁止	屋外に据え付けしないでください。また、水の掛かる場所や湿気の多い場所には据え付けしないでください。 絶縁が悪くなり、漏電し感電や火災の原因となります。
 アース設置	アースを確実に取り付けてください。 故障や漏電の時、感電の原因になることがあります。 電気工事業者によるD種接地工事が必要です。
 厳守	定格15Aのコンセントを単独で使ってください。 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
 禁止	定格電圧（单相100V）以外で使わないでください。 定格電圧以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になることがあります。
 厳守	電源プラグはコンセントに刃の根元まで確実に差し込み、ほこりが付着しないよう定期的に清掃してください。 異常発熱や火災の原因になることがあります。
 禁止	電源プラグをウォータークーラーの背面で押しつけないでください。 電源プラグを傷つけ、感電や火災の原因になることがあります。

 **注意**

 厳守	専用の漏電遮断器を設置してください。 漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。
 禁止	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。 電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
 厳守	給水源に貯水槽や浄化装置がある場合は、水質にご注意ください。 雑菌により健康を害するおそれがあります。

裏面もごらんください。

据え付け工事をされる前に

- 給水源には必ず水質基準（厚生労働省令第101号）に適合した飲料水をご使用ください。
- 給水圧はゲージ圧0.15~0.7MPaの範囲内でお使いください。
- 据え付け工事が完了したら、お客様に取扱説明書の内容をよくご説明ください。

■据え付け場所について

- 据え付け上の注意事項に従い、お客様の同意を得てから据え付けてください。
- 屋外および屋内でも雨の吹き込む場所や、プールサイド、浴室等水が掛ったり、湿気の多い場所には据え付けしないでください。
- 焼き肉、お好み焼、すしなどの飲食店や、食品等を製造する工場では直接、油煙（オイルミスト）、塩分、酢、アルコールなどを含んだ空気を吸い込まない位置に据え付けてください。
- 取扱説明書P5「据え付け場所について」に詳細が記載されていますので一度お読みください。

■配管類の洗浄

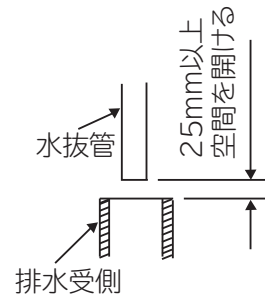
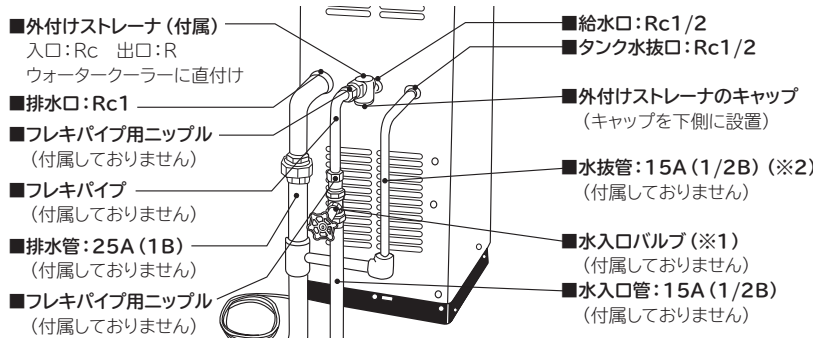
配管類は接続する前に充分洗浄してください。配管類には、切り粉、切削油、異物などが付着しています。これが混入すると、ストレーナが詰まったり、異臭を放つ水が出るおそれがあります。

このウォータークーラーは元止式です。

ノズルからさらに配管を延長したり、その配管にバルブを接続してお使いになりますと、冷却タンク内に大きな圧力がかかり、タンク亀裂、水漏れのおそれがありますので、改造してご使用にならないでください。

据え付け工事をされる場合

配管は、水道法施行令第5条等に適合することが確認された硬質塩化ビニルライニング鋼管、硬質塩化ビニル管等をお使いください。



※図は配管の一例です。

各配管に記載した配管径は、硬質塩化ビニルライニング鋼管を使用する場合の配管径です。

- 1 タンク水抜口には必ず配管を接続してください。タンク水抜口に配管を接続しないと、水の入れ替え中（**洗浄中**表示ランプ点灯中）、タンク水抜口から水が噴き出します。（※2）
- 2 水抜管と排水受側の間には必ず25mm以上空間を開けて、逆流を防止してください。
- 3 排水管の製品側の継手は硬質塩化ビニル製です。配管接続時に強く締め過ぎると継手が割れるおそれがありますので締め過ぎないように注意してください。
- 4 外付けストレーナ（付属）記載の矢印がウォータークーラーに向く方向で、ストレーナのキャップを下側にして設置してください。ストレーナから配管内の水抜きを行うため、キャップが上側では水抜きが十分にできず、冬季など周囲温度が0℃以下になる場合、凍結し破損するおそれがあります。

●従来の水抜口バルブ付きの配管を利用する場合は、水抜管に接続してある水抜口バルブを常時「開」の状態にしておいてください。「開」の状態にしないと、洗浄中、冷却タンク内の水が排出されません。

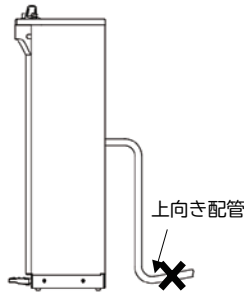
■配管を接続するときのご注意

- 水入口バルブは、ノズルから出る飲料水量（噴水高さ）調節のため、水量調節に適する**グローブバルブ型**を使用してください。（※1）
- シール剤は、配管が詰まったり、水に臭いが移るようなものは使用しないでください。
- 据え付け後、次頁の「冷却タンク内および配管内の洗浄」の手順で配管内に通水し、取扱説明書P4「外付けストレーナの掃除方法」に従い、外付けストレーナのキャップを外し、スクリーンへの異物の詰まりを確認してください。異物があった場合はスクリーンの掃除を行い、スクリーンへの異物詰まりがなくなるまで、「配管内への通水」→「外付けストレーナスクリーンの確認」→「スクリーンの掃除」を繰り返してください。スクリーンの掃除の際はスクリーンを破損させないように注意してください。また、お客様へもこまめな清掃が必要である旨をご説明ください。

……据え付け工事をされる場合（続き）

■排水管の接続について

●排水管は水平または下に流れるように配管してください。上向きに配管するとスムーズな排水が出来ず、製品内部や水抜き管に設けた25mmの空間から排水が溢れることがあります。上向きには配管しないでください。また、トラップ等を設ける場合はスムーズに排水できるように施工してください。



■冷却タンク内および配管内の洗浄

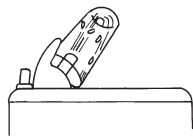
据え付け当初は、飲料水に配管などの臭いが移ることがあります。臭いが消えるまで次の手順で充分水を流してください。

- 1 水入口バルブを開けます。
- 2 電源プラグをコンセントに差し込みます。
 - 「洗浄中」表示ランプが点灯し冷却タンク内を約7分間、強制的に自動洗浄を行います。「洗浄中」表示ランプが点灯中は洗浄の停止はできません。
 - 1回の洗浄で充分なときは、「冷却タンク内への給水」の手順で水を入れます。
 - さらに、洗浄を続けるときは、電源プラグを抜き差しして、7分間の自動洗浄（強制）を行うか、下記手順で任意に洗浄を行ってください。
- 3 ボタン連続レバーをセットします。
- 4 水抜きスイッチを「入」にします。

●ボタン連続レバーと水抜きスイッチをセットするときは、前パネルを外して行います。前パネルの外し方は取扱説明書をごらんください。

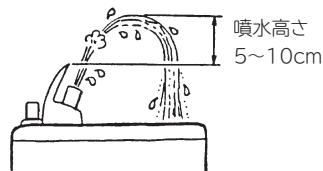
■冷却タンク内への給水

- 冷却タンク内などの洗浄が終了したら、ボタン連続レバーをセットして、水抜きスイッチを「切」にしてください。
- 冷却タンクへ水が入ると同時に、ノズルから冷却タンク内の空気が飲料水と混じって噴出するので、図のようにコップをかぶせ飲料水の飛び散りを防いでください。
- 正常な噴水になったら、ボタンを押して連続レバーを外してください。



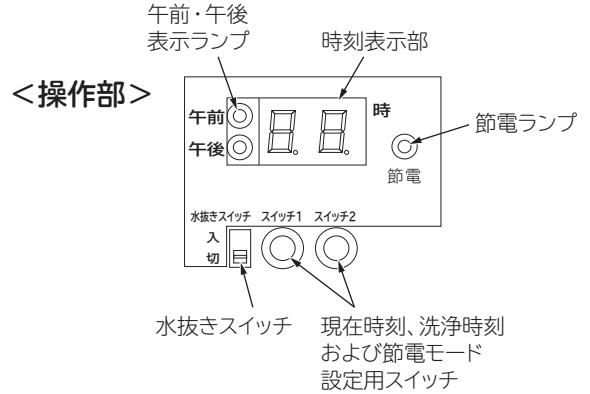
■ノズルから出る飲料水量調節

- ノズルから出る飲料水量調節は次の手順で水入口バルブの開閉で行います。
- 1 水入口バルブをいったん「全閉」にして、ボタン連続レバーをセットしてください。
- 2 水入口バルブをゆっくり開けてゆき、ノズルから出る飲料水量を見ながら調節してください。
- 3 再度調節を行う場合は水入口バルブを再度「全閉」にしてから行ってください。
- 噴水の高さはノズルカバーの上端より5~10cmが適当です。飲料水は、出した瞬間だけ高く飛び、水受皿から飛び出すことがあります。飲料水を出した瞬間も水受皿から飛び出さない高さに、水入口バルブで飲料水量を調節してください。



■水抜きスイッチについて

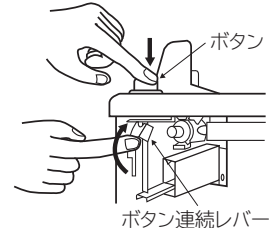
取扱説明書に記載の要領で前パネルを外すと、右側に操作部がありその中に水抜きスイッチがあります。この水抜きスイッチを「入」にすると、電磁弁2が常に開いた状態になります。「切」にすると、電磁弁2は閉じます。



- 水抜きスイッチは「入」のままにしておくと、ノズルから飲料水が出ず冷却運転も行いませんので、ご注意ください。また「入」の状態が1時間以上続くと、水抜きスイッチ戻し忘れ防止機能が働いて、「洗浄中」表示ランプが点滅し時刻表示部に「d」が表示され、運転を停止します。水抜きスイッチを「切」にして、電源プラグを抜き差ししてください。

■ボタン連続レバーのセットのしかた

- ボタンを押したまま、ボタン連続レバーを上方に90°回します。
- そのままボタンを離して、ボタン連続レバーをセットします。

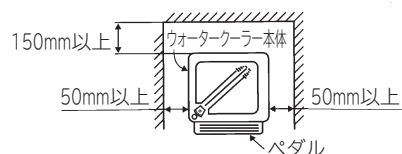


- ボタン連続レバーをセットすると、電磁弁1が常に開いた状態になります。
- 再度ボタンを押すと、ボタン連続レバーが外れ電磁弁1が閉じます。

注意 ボタン連続レバーのセットまたはボタン、ペダル操作による通水を連続して1時間以上行くとボタン連続レバー戻し忘れ防止機能が働いて、「洗浄中」表示ランプが点滅し時刻表示部に「d」が表示され、運転を停止します。そのときはボタン連続レバーを外す。またはボタン、ペダル操作を停止して、電源プラグを抜き差ししてください。

■放熱のための隙間について

- ウォータークーラーの周囲には、図のような隙間をとってください。隙間をとらないと、冷却力が弱くなり電気代のむだにもなります。

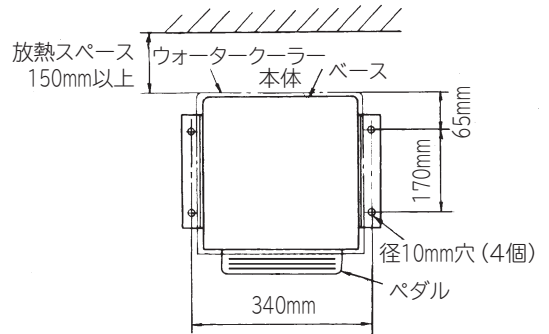
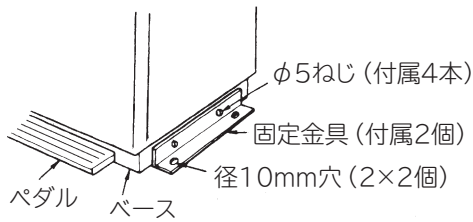


- 放熱グリルの周囲は、カバーなどで覆わないでください。

……据え付け工事をされる場合（続き）

■本体を床面に固定するとき

- 転倒防止のため、ベースの両側面に付いている固定金具を図のように反転して取り付け、市販のM8 アンカーボルト等を使用して床面に固定してください。



■アース接続について

- 万一、漏電した場合の感電防止と機械の保護のために必ず正しいアースをしてください。
アースはD種接地工事（電気設備基準で定める接地抵抗100Ω以下のもの）が必要です。
- アース線は背面にあるアース接続ねじに接続してください。

⚠警告

●アース工事を必ず行ってください

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

アース工事は必ず、販売店または専門業者に依頼してください。

■自動洗浄について

- このウォータークーラーは常に清潔な飲料水をお飲みいただけるよう自動的に冷却タンクの水を入れ替える機能が付いています。

この機能は次のようなときに約7分間水の入れ替えを行います。

●電源を入れた直後

注意 電源を入れた直後約7分間の水の入れ替えを行っている間に次のような場合、洗浄時間が7分以上になります。

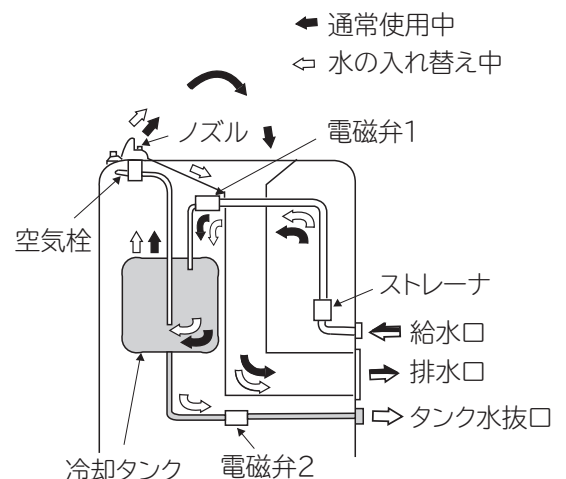
- 設定した洗浄時刻になった場合

- 現在時刻、洗浄時刻を設定し、現在時刻が洗浄時刻になった場合

●設定した洗浄時刻

- 水の入れ替え中は電磁弁1と電磁弁2が開き給水口・ストレーナ・電磁弁1・冷却タンク・電磁弁2・タンク水抜口および冷却タンク、ノズルの順に水が流れます。

<水の流れ系統図>



- お客様のご要望により時刻を設定する場合は取扱説明書をご覧ください。

- 水の入れ替え中は水入口管から供給される水が約7分間水抜管とノズルより排水されますので、十分な排水能力を確保してください。

なお、据え付け完了後には必ず水の入れ替えを行い、十分な排水能力が確保されているか確認してください。